

人が集い、人がふれあい、人が暮らす商店街

日向市：ひゅうが新町商店街振興組合

地域の歴史・関連する行政計画等

大正10年の鉄道開通に伴い、この地に国鉄日豊本線富高駅が開業したことにより、商業的にも飛躍をとげた。日向市が誕生したときも、市庁舎がこの地に置かれている。永年に亘って圏域の中心的な役割を担っている。

<日向市中心市街地活性化基本計画>

日向市駅東口を交通ネットワークの拠点として整備したことによりコミュニティバスが増便となり、通院や買い物をする高齢層の来街者が増えた。

・日向市駅前交流拠点施設が完成し、定期イベントや施設利用者が増え、日向市駅周辺の通行量が増えた。

地域の強み

- ・大規模イベントを日向市駅周辺で開催。
- ・イベントが豊富に実施されている。
- ・駅前の交流拠点施設を中心に活性化している
- ・飲み屋街に近い
- ・近隣の居住人口は維持傾向
- ・ボランティアの参加が多い

地域の課題

- ・コロナ禍で自分のお店で精いっぱい。
- ・商店街の情報発信、個店のPR方法
- ・他の団体等と連携ができていない
- ・観光客をいかに中心市街地に取り込むか
- ・まちづくり担い手の減少
- ・若者が少ない。公園や道路は整備されたが有効に活用されていない。
- ・お祭りでたくさん人が来るが商店街までの誘客ができていない
- ・日向にはサーファーがよく来るがお金を落とさない。
- ・店主の新規開業、事業承継

商店街全体の将来像

- ・人が集い、人がふれあい、人が暮らす、にぎわいに満ちた商店街
- ・多世代が訪れる商店街
- ・全員が遊び感覚で楽しむ商店街

具体的なアイデア(申請)

- ・商店街振興組合のHPを作成。組合店舗の紹介動画や各店のイベントなどをPR。
- ・組合員サイトを作り各種情報提供とペーパーレス化
- ・サイトの利用者を会員化することで、プッシュ型で定期的な情報や特典を提供できる仕組みを構築する。
- ・SNSでのPR拡散を行う。
- ・高校生のボランティアや活動にもポイントを付与。

ターゲット

- ・地域住民(高校生、子育て世代、高齢者)
- ・JR日向市駅の利用者
- ・県外観光客・サーファー

その他のアイデア

- ・土曜夜市の開催
- ・各観光スポット・イベントと商店街・個店を結ぶスタンプラリー
- ・商店街の部活動 商店街の店主が部長となり、地域住民の人達が部員となるクラブ活動を発足。「写真部」「料理部」「手芸部」など、店舗にちなんだ様々な部活動を展開し、多くの参加を促します。
- ・買い物が困難な高齢者等を対象に「買い物代行(御用聞きと配達)」サービスの提供。
- ・防災マルシェの開催
- ・商店街 起業・事業承継塾の開催、インターンシップの実施
- ・サーファーとの連携イベントの検討

まち全体との関連

- ・日向市の中心的な商店街
- ・日向市の街の顔としてのプライドエリア
- ・人・物・情報等の集発散の場

プロセス(いつ・誰が)

- ・各店主との話し合い
- ・地域、商店街、学生などと多彩なメンバーでプロジェクトチームの結成
- ・外部協力者ボランティアの確保
- ・外部の専門家

作り方のポイント

- ・モニタリング
- ・事業評価
- ・商店街の参加者の確保
- ・地域住民の巻き込み方
- ・委託業者とのコミュニケーション

参考になる事例

沼垂テラス商店街

<https://nuttari.jp/aboutvoichi/>

宮之阪中央商店街振興組合

<https://mivanosaka.top/>

みやのかわ商店街振興組合

<http://www.mivanokawa.com/>

ナイトバザール、セレモニー、買い物代行など、さまざまな事業に取り組んでいます。

追浜銀座通り商店会

https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/shogyo/shotengai_oihama.html

<http://www.oppama-town.com/>

いたばしオンライン商店街

https://itabashi-times.com/shopping_street